H25総括研究報告書　添付図表

**表１　OSCE文献リスト**

|  |  |
| --- | --- |
| 1 | 仁田善雄：共用試験医学系OSCEにおける得点に影響する要因についての研究．医学教育，第44巻補冊：189，2013． |
| 2 | 青松棟吉：OSCEによる研修医評価から得られた研修とその評価における課題．医学教育第44巻補冊：14，2013． |
| 3 | 福山俊彦：Procedures Consultの共用試験OSCEへの応用． 医学教育学，第44巻補冊：84，2013． |
| 4 | 松下毅彦：OSCEによる医療面接技能の評価－4年次と６年次での比較－．医学教育，第44巻補冊：86，2013． |
| 5 | 犬塚裕樹：OSCEにおいて模擬患者と評価者が受験者得点に及ぼす影響．医学教育，第44巻補冊：86，2013． |
| 6 | 藤田之彦：日本大学医学部・歯学部と芸術学部演劇学科との学部間協力による標準模擬患者養成（第４報）． 医学教育学，第44巻補冊：87，2013． |
| 7 | 長宗雅美：OSCEによる模擬患者演技の標準化を目標としたトレーニングの方策．医学教育，第44巻補冊：88，2013． |
| 8 | 石原慎：Advanced OSCEにおける評価者の標準化の試み．医学教育，第44巻補冊：114，2013． |
| 9 | 上田祐樹：自治医科大学におけるAdvanced OSCEの現状と課題．医学教育，第44巻補冊：188，2013． |
| 10 | 阿曽亮子：模擬患者参加の医療面接におけるメイクアップの活用．日本シミュレーション、医療教育学会：36-39，2012． |
| 11 | 中野俊也：クリニカル・クラークシップの評価方法の検討－全実習診療科共通の評価シートを用いた評価について－．米子医学雑誌：145-149，2011． |
| 12 | 枡形尚：共用試験OSCE後の臨床実習における模擬患者による医療面接実習の意義と問題点．医学教育，40(3)：175-179，2009． |
| 13 | 山脇正永：診療参加型実習と卒後臨床研修における学習目標達成率の比較：卒前卒後の継続的な臨床教育についての研究．医学教育，40(6)：399-410，2009． |
| 14 | Advanced OSCEの開発（学会シンポジウム）．医学教育，第39巻補冊：24-26，2008．  信岡祐彦：臨床実習終了時点でのAdvanced OSCE　３年間の取り組みと課題．  菰田孝行：臨床診断の思考過程を組み込んだ身体診察学習と評価の開発研究（第３報）．  鈴木富雄：総合診療部５年次Advanced OSCE型実習の教育効果を評価する．  赤池雅史：診療記録ならびにプレゼンテーション能力の評価を重視したAdvanced OSCEの試み．  石原慎：Advanced OSCEの開発－藤田保健衛生大学における導入の経験から－ ．  犬塚裕樹：Advanced OSCEトライアル評価データ解析Ⅲ　ステーション間の相対的位置関係決定法．  大久保由美子：テュートリアル、共用試験OSCE、CBT、P-SATの評価とAdvanced OSCEの評価の関係． |
| 15 | 木下浩二：アドバンスドOSCE．近畿大学紀要，30(1)，2005． |
| 16 | 鈴木栄一：変わりつつある医学教育．新潟医学会雑誌，239-244，2004． |
| 17 | Richard Reznick・伴信太郎：カナダの国家試験におけるObjective Standard Clinical  Examination (OSCE)．医学教育，29(1)：9-13，1998． |
| 18 | 一般演題OSCEⅠ・Ⅱ．医学教育，29(5)：320-327，1998．  高林克日己：臨床入門および臨床バリア試験の導入．  福本陽平：病棟修練（BSL）前の基本的診療実習とOSCE評価．  矢崎誠治：客観的臨床能力試験(OSCE)実施の問題点 ．  箕輪良行：OSCEの評価者間信頼性と各種の評価指標との関係．  伴信太郎：基本的臨床技能教育の評価のためのOSCE－評価者間の一致度に関する研究－．猪野裕栄：埼玉医科大学のOSCE評価における態度評価と技能評価の相関について．  村上不二夫：第１回総合実習およびOSCE後のアンケート調査についての検討．  松岡健：臨床実習終了時における５年総括評価OSCEの試み－第１報－．  吉田素文：九州大学における基本的臨床技能習得をめざしたカリキュラム－OSCEによる学習評価とそのシステムについての検討－．  猪野裕栄：埼玉医科大学におけるOSCE評価と学識点評価の相関について．  岡山雅信：診断学基礎実習におけるOSCEならびにシナリオを使った教育評価．  伊藤澄信：CSA模倣試験を用いた米国臨床研修留学生選抜試験の経験． |
| 19 | 村田由香：教育方法開発　成長実感型OSCEの開発と実践．看護教育，54(11)：1042-1049，2013． |
| 20 | 百田武司：OSCEの評価の違いによる評価の一致度に関する検討－横断的調査に基づくキャリブレーション効果－．日本看護学教育学会誌：199，2013． |
| 21 | 鈴木香苗：学部4年生対象の成人看護実習前に実施するOSCEの評価者間の一致度に関する研究．日本看護学教育学会誌：201，2013． |
| 22 | 長岡由紀子：客観的臨床能力試験を評価に取り入れた演習科目の授業評価－学生の自己評価を中心とした分析－．茨城県立医療大学紀要，第17巻：31-39，2012． |
| 23 | 近藤智恵：OSCEにおける教員間の評価の差異と課題．茨城県立医療大学紀要，第16巻：1-11，2011． |
| 24 | 川崎タミ：実習直前の看護OSCEの結果を用いて測定した実践力と、学生の心的状況の関連について．東邦看護学会誌，第8号：10-16，2011． |
| 25 | 樋之津淳子：基礎看護学領域での看護実践力到達度とOSCEによる実践能力評価．看護展望，33(3)：278-282，2008． |
| 26 | 鈴木玲子：成人看護領域におけるOSCEの展開－看護実践力の向上につながる評価のあり方．看護展望，33(3)：283-288， 2008． |
| 27 | 加悦美恵：医学科・看護学科共同でのSP要請の現状解析と今後の方向性－Advanced OSCEにおける学生ＳＰとの対比－．久留米医学会雑誌，71(5・6)：199-207，2008． |
| 28 | 浅川和美：全領域でのOSCEによる技術習得度の評価．看護展望，31(2)：75-81，2006． |
| 29 | 大山篤：カナダと日本の歯学教育における客観的臨床能力試験(OSCE)の比較．ヘルスサイエンス・ヘルスケア，12(2)：125-129，2012． |
| 30 | 村岡宏祐：ミュレーションテストの成績と学生の不安、ストレス、緊張の関係について．九州歯科会誌，64(5)：191-195，2011． |
| 31 | 細矢哲康：全国歯科大学・歯学部における歯内療法学実習の実態調査．鶴見歯科大学紀要，36(1)：1-18，2010． |
| 32 | 岩堀正俊：OSCEの評価者の違いによる評価の一致性に関する検討．岐阜歯学会誌，35(3)：160-166，2009． |
| 33 | 岩堀正俊：卒後臨床研修医の研修に対する意識調査と研修前後のOSCE成績の変化．岐阜歯学会誌，33(2)：136-143，2007． |
| 34 | 徳永仁：Advanced OSCEによる薬学生のフィジカルアセスメントに関する技能評価．医学教育，第44巻補冊：188，2013． |
| 35 | 入江徹美：第４回薬学共用試験OSCE結果報告．医学教育，第44巻補冊：189，2013． |
| 36 | 徳永仁：患者シミュレーターを使用した新たなアドバンストOSCEによるフィジカルアセスメントの技能評価とその問題点．医療薬学，39(4)：208-219，2013． |
| 37 | 徳永仁：薬剤師教育における先進的な客観的臨床能力試験（Advanced OSCE）トライアルの実施とその評価．医療薬学，37(2)：79-89，2011． |
| 38 | 斉藤勲：客観的臨床能力試験(OSCE)の試行にむけた準備とOSCEの副次的効果　評価者アンケートと受験者アンケートから．医療薬学，34(8)：805-810，2008． |
| 39 | 岡田啓太：OSCEにおける試験官と模擬患者による評価の関連性．理学療法科学，27(4)：367-371，2012． |
| 40 | 横尾正博：評価実習に向けた客観的臨床能力試験（OSCE）の試みと学生の反応．柳川リハ福岡国際紀要，第7巻：34-39，2011． |
| 41 | 飯塚陽：卒後研修システムにおけるOSCE導入の試み．日本理学療法学会 |
| 42 | 横尾正博：評価実習に向けた客観的臨床能力試験(OSCE)の試み．柳川リハ福岡国際紀要，第6巻：15-20，2010． |
| 43 | 才藤栄一：リハビリテーション医学卒前教育．リハビリテーション医学，42：388-389，2005． |
| 44 | 堀之内若名：客観的臨床能力試験の評価方法に関する国内文献の検討．千葉県立保健医療大学紀要，第4巻　第1号：47-54，2013． |
| 45 | 中村恵子：看護OSCE．メヂカルフレンド社，2011． |